

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年3月3日（火）

2 確認箇所

旧事務本館（遠隔操作室）

3 確認項目

3号機使用済燃料プール内の制御棒等高線量機器取り出しの状況

4 確認結果の概要

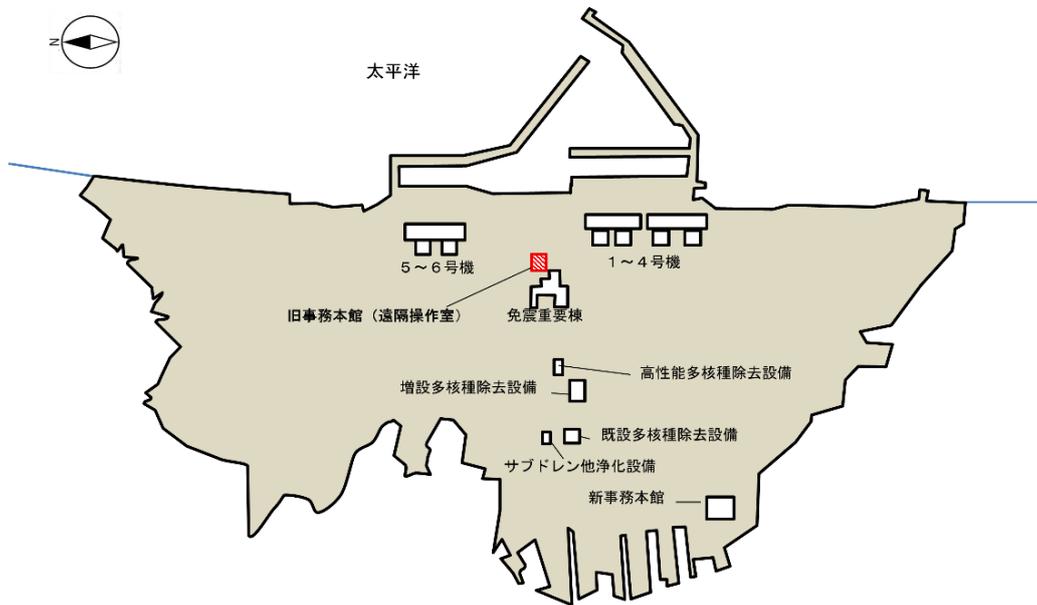
東京電力は3号機使用済燃料プール（以下「SFP」という。）に貯蔵している制御棒等の高線量機器の取り出しを令和4年度下期より実施しており、本日はその作業状況を確認した。（図1）（前回確認：[令和4年12月13日](#)）

高線量機器の取り出しは、クレーンを主に使用し、3号機オペフロで現場作業を担う作業班と遠隔操作によるリモート操作を行う班との連携により行われる。今回は、遠隔操作室内においてリモート操作の状況を確認した。

- ・本日の取り出しは、遠隔操作担当がリモートでクレーンを操作し、SFP内のハンガーに保管されている長い円筒状のバスケット容器に専用の吊具をかけ、オペフロ周辺線量の上昇を抑えるため、高線量機器をSFP水中移動させながら構内輸送容器（キャスク）に装填する作業を実施していた。（写真1、2）
- ・吊具をクレーンへ装着する作業や補助ロープ取り回し作業のため、3号機オペフロ※に現場作業員が配置され、遠隔操作室のリモート操作者の指示に従い、連携しながらキャスクへの装填作業が行われていた。
- ・東京電力によると、3号機高線量機器類の取り出しは、現時点において燃料取り出しに使用する構内輸送容器等を用いる工程のうち、制御棒や中性子検出器等の取り出しは完了した。しかし、高線量のフィルタ類などが残っており、制御棒と同様、サイトバンカや固体廃棄物貯蔵庫へ輸送、保管する計画としている。

※ オペフロ（オペレーティング・フロアの略称）

原子炉建屋の最上階にあり、原子炉設備の維持管理や補修、機器交換等を行うための作業エリア。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
遠隔操作室でクレーンに取り付けられた吊具のリモート操作を行う作業員 (3号機オペフロでの現場作業を実施している作業員と連携して操作)



(写真2)
SFP内のハンガーに保管されているフィルタ類が入った筒状バスケットに吊具のクランプ架け作業を実施している状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。